



## 平成 27 年 11 月 24 日(火) 植栽講習会 編

秋田自動車道太平山パーキングエリアのトイレの内装木質化に先立ち、NEXCO 東日本秋田管理事務所では 5 月末から木製鉢カバーを使った景観整備に取り組んでいます(2015 年 7 月 14 日の活動レポート参照)。高速道路を利用する際には時々立ち寄って経過観察をしてきましたが、従来品とは違って高さもボリュームもあることから、器に負けない植栽、植物も器も魅力的に見える植栽に対する理解が必要と考え、関係者の方々を対象に「木製プランターカバーを活用したおもてなしの空間づくり講習会」を開催しました。

講師はネットワークの木製プランターカバーをモニター使用して下さっている昇平岱の花屋さん、花まりの中川まり子さんです。秋田管理事務所の太田所長、持田副所長、林課長はじめ、日ごろ施設の清掃や管理をされている(株)ネクスコ・メンテナンス東北の方々総勢 10 人が参加。また、製品製作・販売の方にも参考になると考えて、ウッディさん(株)の谷藤さん、相澤銘木(株)の信太さんにもお声がけをしました。

講習会では太平山パーキングエリアのこれまでの植栽写真を見ながら、色や高低の組み合わせといった改善点を指摘いただいたほか、管理が容易ながら、長持ちする丈夫な植物などを教えていただきました。「お客さんは成長過程を見に来ているわけではなく、一度しか見てもらえないと思って始めから完成形を作る」「密集して植えた方が植物は良く育つ」という講師のお話に皆さん、目からうろこです。

「アイビーなどのグリーンは通年植えたままにし、アクセントとなる花だけを植え替えて季節感を出す」では、夏からモニター展示していた 3 鉢を使って、実際に参加者の方々に花を入れ替えていただきました。みなさん、その変化を実感すると共に、作業の要領も理解していただけましたようです。この日の実習成果は、木高研の冬の玄関を飾っています。

来春からは一年を通してデータを集め、秋田管理事務所以外のところでも「おもてなし空間づくり」ができるようマニュアルを作成していく予定です。

文： 渡辺 千明



この日の木高研は授業や講演が目白押しで空き部屋がなかったため、急遽、実験住宅 1 階の広間での開催となりました。ベンチもテーブルも木製で寺子屋のような雰囲気です。



バラのように見える葉牡丹、寒さに強いピオラやシクラメン、高さのあるゴールドクレストなど晩秋から春まで屋外で展示できる植物を使って、色あわせや高さに変化を持たせる組み合わせのポイントを教えてくださいました。



この日の植栽実習(上)の成果は木高研玄関前に春まで展示されます(下)。